

労働者の過不足状況(職種別)

平成18年2月の職種別労働者過不足判断D.I.により、雇用過不足感の動向を見ると、全般的には不足超過幅が拡大している。
特に「専門・技術」及び「技能工」は不足感が強い。

(%、ポイント)

職種	17年8月調査			17年11月調査			18年2月調査		
	不足	過剰	D.I.	不足	過剰	D.I.	不足	過剰	D.I.
管理	8	9	▲1	8	10	▲2	8	8	0
事務	11	7	4	11	8	3	12	7	5
専門・技術	35	4	31	35	3	32	37	3	34
販売	27	5	22	28	4	24	30	4	26
サービス	26	4	22	25	3	22	27	4	23
運輸・通信	19	3	16	21	2	19	22	2	20
技能工	28	5	23	31	4	27	33	4	29
単純工	22	11	11	25	8	17	25	9	16

資料出所:厚生労働省「労働経済動向調査」(平成18年2月)

職種の定義:管理:課以上の組織の管理に従事する者をいう。

事務:課長等管理職の指導、監督をうけて事務に従事する者をいう。

専門・技術:高度の専門的知識を応用し、技術的な業務、研究等に従事する者をいう。

販売:商品、証券などの売買・営業、保険外交などに従事する者をいう。

サービス:調理・接客・給仕など個人に対するサービスの仕事に従事する者をいう。

運輸・通信:鉄道、自動車、通信電話交換などで運転、操作に従事する者及び車掌、電話交換手などをいう。

技能工:原材料の加工、各種機械器具の組み立て、修理、印刷、製本、建設作業などに従事する者のうち高度の熟練、判断力、責任を要する作業を行う者をいう。

単純工:上記「技能工」と同じ作業に従事しているが、技能などの修得を要しない簡単な作業、単純な筋肉労働に従事する者をいう。